

【22\_263技術系メルマガ】サイコロの『数』か？『精度』か？

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

今回も、メルマガ登録頂いた方からの質問からテーマを持って来させて頂きました(笑)

「手法はいくつも持つべきか、ひとつのものだけを持つべきか」

頂いた質問、そのまま今日のメルマガのサブタイトルとさせて頂きましたが

僕の考える結論は、以下の通りです。

▼当時のツイート▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1570638001172287488?s=20&t=NSfXEaBPtCHt79EDACLkjq>

時間をかけて取り組む中で、少しずつサイコロ(＝一貫したひとつの手法)を増やしていく事は良いと思います。

例えば、僕の場合はロンドン初動を中心に攻める『MA収縮+3波』を主軸として

いわゆる東京時間の朝活をサブ手法に据えてトレードを行っていますが

そもそも主軸のスタイルを固めるまでに、検証⇒テスト⇒実弾でのパフォーマンス確認を通して

これで一貫して実戦に使えると判断するまでに2年くらいは掛かっています。

それくらい、ひとつのサイコロを完成させるには時間がかかるものです。

複数の手法を持った方が、一見すると効率的にトレードができ、利益も上げられそうに思うかもしれませんが

実際のところ、一つの手法を貫徹して収益を安定化させるには『言語外の感覚』を磨くための時間(経験量)が必要になります。

その『言語外の感覚』についても、またいつかの機会にメルマガを書いていこうと思っていますが

例えば、

「想定が崩されたと判断するロスカットラインは、パターンの外側何pips程度置いておくか？」

というのも、僕宛によく来る質問の一つも、その手の感覚作りと関連した話ですね。

話がそれてしまうので、この話はまた別の機会にしたいと思いますが

せっかく作った一貫性のある型があるのに、そういった「ちょっと悔しい損切り」を数回やったからといって

「実はこのやり方より、もっといい方法があるんじゃないか？」と

全然違う手法に浮気してしまうという人がどうしても多い。

自分の作った『型』を突き詰めるというのは、日々のトレードの中で

利確だけでなく、どんな損切だったら『一貫性のある良いトレードの結果』として受け容れられるのかを把握しないとイケないし

それは日々のトレードの積み重ねの結果から判断することになるので、その評価にはそれなりの時間を要します。

そういった深掘りをしないうちから、新たな手法(サイコロ作り)を模索するのは

精度の中途半端なサイコロの数が増えるだけで、結局無駄なトレードが減っていかないのです。

そして最終的には、どれだけトレードをしてもイマイチ利益が残らないという状態になってしまう。これは非常に勿体ないことです。

時間のかかる作業を延々繰り返していくというのは、どうしても退屈さがついて回りますし

一早く成果がほしいと思う人にとっては、その行動の積み重ねが実を結ぶか不安に感じたりもするでしょう。

それでも、そもそもトレードで稼ぐという行動自体、そのような退屈で面倒な作業の積み重ねで成り立っているという事を理解し

根気強くやっていくことができる人から、望む結果を得ていきます。

これを読んでくれている皆さんにも、そういう意味では

トレードの世界における『リアリストの思考』をしっかりと腑に落としてもらえたらと思っています。